

2003年 創刊号 漫湖水鳥・湿地センターだより

発行：漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会 2003年7月20日



テープカットで
いよいよオープン



鳥の生中継で人気の大型映像。
幼稚園児も鳥の真似



上から見たセンターと広がる
マングローブ林



図書コーナーは、子どもたちで
いつもいっぱい

「創刊にあたって」

漫湖がラムサール条約の国内 11 番目の登録湿地になったのが平成 11 年 5 月 15 日でした。その時、私も沖縄からの代表として中米のコスタリカでの記念すべきラムサール条約締約国会議に出席できたことを誇りに思っています。

登録湿地として水鳥保護と湿地保全を目的に 5 月 17 日に開所した漫湖水鳥・湿地センターは順調に 1 日平均、約 100 人の来館者を迎えています。オープン以来、小学生たちが友達同士でくり返し訪れたり団体では多くの小学校が総合学習で来館しています。環境の世紀、21 世紀をになう子どもたちが多いのは実にうれしく、また心強いことです。

今後、当センターは環境省、沖縄県、那覇市、豊見城市で結成した漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会で親しみやすい“水鳥と湿地と人をつなぐセンター”を目指しますので、皆様方のご指導ご協力をよろしくお願い致します。



漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会
会長 金城 豊明 (豊見城市長)

トピックス

人と自然が出合う場に

漫湖水鳥・湿地センター開所式 豊見城

きょうから一般公開 環境学習の拠点にも

【豊見城】環境省が豊見城の七ツ目大橋近く、漫湖の生物多自然と出会うために建設した漫湖水鳥・湿地センターの開所式が、十六日催された。同日、環境学習の拠点として、十七日から一般公開



15年5月17日 琉球新報

開会式は、とよみ小学校児童 52 名によるリコーダー演奏で始まった。沖縄の名曲、「芭蕉布」と「じんじん」が会場をさわやかな雰囲気包んでくれました。テープカットでは環境省小野寺審議官、沖縄県比嘉副知事、豊見城市金城市長、那覇市伊藝助役、豊見城高校・仲村あゆみ生徒代表、鏡原中学校・高良海生徒代表、とよみ小学校・山田結子生徒代表の7名がはさみを入れ、招待客約 150 名がセンターを見学しました。

オープンから約1ヶ月過ぎたころです。センターは連日、多くの来館者が訪れ、個人のほか団体も多く、もっとも目立つのが新しく始まった「総合学習」で訪れる小学校の団体です。センター全体が環境学習にピッタリの施設になっています。望遠鏡や大型映像により水鳥の観察体験が容易に体験出来ます。干潟の自然ジオラマや水鳥と湿地の解説パネルの展示があり、自然の本が1千冊も並ぶ図書コーナーもあります。今後、さらに小中学校の団体利用の増加が予想されます。

漫湖水鳥・湿地センター オープンから1か月

環境学習の拠点に

身近な自然に喜びと感動

【豊見城】豊見城市豊見城にある環境省の漫湖水鳥・湿地センターが、オープンから1か月を迎えた。5月17日の一般公開開始以来、小・中・高校生はもちろん人保育機関や大学生、地域の自治体など多くのグループが訪れ、環境学習の拠点となっている。

【豊見城】環境省のアンケートによると、このセンターが身近な自然に喜びと感動を体験できた、野鳥や干潟を愛する空気に感動した、と多くの声が多岐寄せられている。また、環境省のアンケートによると、このセンターが身近な自然に喜びと感動を体験できた、野鳥や干潟を愛する空気に感動した、と多くの声が多岐寄せられている。

【豊見城】環境省のアンケートによると、このセンターが身近な自然に喜びと感動を体験できた、野鳥や干潟を愛する空気に感動した、と多くの声が多岐寄せられている。

15年6月24日 琉球新報



5氏がそれぞれの立場で希少な野鳥の現状について語ったシンポジウム=26日夜、豊見城市の漫湖水鳥・湿地センター

移入動物で絶滅の危機

沖縄奄美 野鳥シンボ 自然保護官らが報告

【豊見城】五月オープンした豊見城市の漫湖水鳥・湿地センターで公開シンポジウム「沖縄奄美野鳥の現状について」(主催・環境省)が、自然保護官ら5氏がそれぞれの立場で希少な野鳥の現状について語ったシンポジウム=26日夜、豊見城市の漫湖水鳥・湿地センター

【豊見城】五月オープンした豊見城市の漫湖水鳥・湿地センターで公開シンポジウム「沖縄奄美野鳥の現状について」(主催・環境省)が、自然保護官ら5氏がそれぞれの立場で希少な野鳥の現状について語ったシンポジウム=26日夜、豊見城市の漫湖水鳥・湿地センター

15年6月27日 琉球新報

沖縄で奄美の野鳥の生態について発表される貴重な機会になりました。特にアマミヤマシギは沖縄にも生息しており、今後、奄美、沖縄間の本種の情報交換などが期待されます。

本若氏はカムリワシの生態を鮮明な多数のスライドで分かりやすく解説した。ノグチゲラは、足環による個体識別調査の結果から一夫一婦制であることが確認されました。ヤンバルクイナは自動撮影調査により、ノネコなどが同じ地域に住むことが分かり、ヤンバルクイナの危険な状況があらためて確認出来ました。